

### 1 自己評価及び第三者評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2890800358		
法人名	株式会社ニチイ学館		
事業所名	ニチイケアセンター神戸霞ヶ丘		
所在地	兵庫県神戸市垂水区歌敷山1-1-46		
自己評価作成日	H30年2月5日	評価結果市町村受理日	平成30年5月17日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	
----------	--

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人ニッポン・アクティブライフ・クラブ兵庫福祉調査センター		
所在地	尼崎市南武庫之荘2丁目27-19		
訪問調査日	平成30年2月20日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<p>ご利用者様のできることを生かし、それぞれの役割を持っていただきながら笑顔で楽しく過ごしていただけるよう支援させていただいております。</p>
---

【第三者評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

<p>ニチイケアセンター神戸霞ヶ丘は平成29年1月に開設され、垂水区歌敷山1丁目の歌敷山中学校・霞ヶ丘小学校・霞ヶ丘幼稚園に囲まれた静かな住宅街の一角に位置し、近くに明石海峡大橋を望むことができる。利用者は介護度が軽く、家族が近くに居住する人が多いのが特徴である。又、施設の土地建物のオーナーが地元出身で日常の業務運営に協力的で、管理者やケアマネージャーを筆頭に職員の多くが地域事情に詳しいことなどから、地域との付き合いの度合いが高まっていくことが期待できる。</p>
--

**V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します**

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

# 自己評価および第三者評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	三者	項目	自己評価	第三者評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげています。	事業所玄関ロビーの正面の壁に、事業所理念の掲示がなされ、職員一同の顔写真と、個人の目標のメッセージが掲げられてあり、取り組み姿勢が感じられる。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流しています。	事業所入口のフェンスには掲示板が設置されており、町づくり協議会の案内や、警察からの防犯についてのポスターなども張り出され、地域からの情報提供の場として活用されている。	GHとして自治会には未加入であるが、職員に近隣住民もおり、今後は、学校やふれあい町づくり協議体とも繋がり世代交流・地域交流の取組が期待できる。
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	現状では地域の人々に向けて活かしていません。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしています。	会議には、開設当初より、人数のバラつきはあるが、家族の参加を重視し、垂水区内のGH連絡会メンバーも相互に参加しあう関係が出来ており、情報交流や、学び合いの機会となっている。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	現状では取り組めていません。	垂水区内のGH連絡会に参加し、情報交換をする機会があり、その場に、公的機関としての地域包括支援センター職員が出席しており、意見交換の機会がある。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいます。	身体拘束については、年間研修の内容に取り組みされており、出席が義務付けられ、母体法人規定のカリキュラムのもとに実施されている。	
7	(6)	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めています。	年間研修の機会とともに、職員のストレスの解消や、見守りあいなど、管理者・ケアマネ等が立場を変えて、職場内の状況に注意を払い、相互に意見交換等が行われている。	

自己	三者	項目	自己評価	第三者評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8	(7)	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援しています。	年間研修計画に制度の理解についての内容が盛り込まれており、学びの機会と、レポート提出等が実施されている。	
9	(8)	○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約の締結、解約又は改定等の際は、ご利用者様やご家族様等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っています。	開設にあたり、利用者募集の際に、見学会を開催し、個別に時間を取って説明をする機会をもたれており、退去や、看取りについての要件等も質問に応じて説明がなされている。	
10	(9)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご利用者様やご家族様等がご意見、ご要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させています。	家族は週1回～月1回は来訪されており、機会をとらえて、要望などを聞き取るように努めている。	
11	(10)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させています。	フロアー会議など日頃の業務連絡の際にも気楽に提案ができる雰囲気重視している。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	他社の運営推進会議、垂水区グループホーム連絡会に参加し同業者と交流する機会を設けていますが、より多くの同業者と交流を持てるようにしていきたいと思ひます。		

自己	三者	項目	自己評価	第三者評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	アセスメントでご本人が困っていること、不安なことご要望をお聞きしケアプランに反映できるよう努めています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	アセスメントでご家族様が困っていること、不安なことご要望をお聞きしケアプランに反映できるよう努めています。またご訪問をされた時にもお話を伺いし随時対応をさせていただきますいております。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	サービスを導入する段階で、ご本人とご家族様等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めています。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	ご本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築けるよう努めています。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族様を支援される一方の立場におかず、ご本人とご家族様の絆を大切にしながら、共にご本人を支えていく関係を築けるよう努めています。		
20	(11)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めています。現状では全て対応できておりません。	入居者のほとんどが垂水区内に居住されていた方々が多く、まずは、GH入居後もご家族との関係も途切れさせないことを配慮し、遠慮なく手出しをしてもらうことも重視している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	ご利用者様同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずにご利用者様同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めています。		

自己	三者	項目	自己評価	第三者評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めています。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	(12)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めています。困難な場合は、ご本人本位に検討させていただいております。	本人から直接に思いの聞き取りが困難な場合は家族の協力を得て、生活習慣や、嗜好等を聞き取るように努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めています。		
26	(13)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、ご本人、ご家族様と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成できるよう努めています。	計画策定・モニタリングには、必ず家族とともに、意見交換の出来る機会を設けて、参加できるような体制を重視されている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かせるよう努めています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	柔軟な支援が行えるよう取り組ませていただいておりますが、サービスの多機能化に関しては不十分なところもありますので、今後は力を入れて取り組んでいきたいと思っております。		

自己	三者	項目	自己評価	第三者評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握できるようご本人やご家族様にご相談をさせていただいておりますが、現状ではすべて把握できておりません。		
30	(14)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	提携医のご案内をさせていただいておりますが、かかりつけ医をご希望される方にはご家族様に対応していただいております。	提携医は月2回の往診があり、訪問看護ステーションからは、ドクター往診時の同行と、往診時以外の各週には、定期訪問があり、緊急時の対応も含めて、継続的な医療的対応ができています。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	訪問看護師と連携をとりご利用者が適切な受診や看護を受けていただけるよう努めています。		
32	(15)	○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	ご利用様が入院された際、病院関係者との情報交換や相談に努めています。	協力医療機関により、入退院時、紹介や情報提供や、退院に際しての継続的な医療連携が来ている。	
33	(16)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	医師とも連携をとりながらご家族様には早い段階で話し合いをさせていただいておりますが、現状では地域の関係者と共にチームで支援できていません。	開設以来年数も浅く、具体的な対応についての話し合いなどはないが、今後の実情に合わせて取り組めるよう、法人内では方針等の準備はある。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時の対応について研修をおこなっていますがすべての職員が対応できるように、回数を増やしていきたいと思っております。		
35	(17)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年に2回防災訓練を実施しておりますが、現状では地域との協力体制は築けてはおりません。	垂水区では、防災訓練において、直接的に消防署からの立会指導は、されないとのことであるが、管理者は防災についての講習も受講済で自主防災としての訓練を実施している。	災害時に近隣住民の協力は不可欠であり、今後、防災イベントとして、備蓄を活用した模擬訓練等を実施されてはどうか。

自己	三者	項目	自己評価	第三者評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	(18)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	更衣・入浴・排泄介助時はプライバシーを損ねないように対応をさせていただいておりますが、トイレのお声かけ時は配慮が足りていない場合があります。	身体状況の把握と、スタッフのケア対応について、利用者から見えにくい壁面を利用して、簡潔に掲示されており、確認がしやすい。スタッフはさりげない対応が出来るよう工夫されている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	何かをしていただく時にはご利用者様にお聞きし、ご希望にそって対応をさせていただくように努めています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	なるべくご利用者様のペースで過ごしていただけるように配慮させていただいておりますが、職員の都合で行っていただいている時もあります。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	更衣時にはご利用者様に服を選んでいただいております。		
40	(19)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	一週間の献立表を作成する時にご利用者様に一緒に考えていただいております。調理も役割分担を行える限り参加していただけるよう努めています。	利用者は、自分の出来る事をシッカリと取り組まれている。盛り付けの見本がしてほしいと提案される人もあった。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	体重の変化を管理させていただき、看護師や医師とも連携をとりながら対応をさせていただいております。水分量も把握させていただき少ないご利用者様にはお声かけをさせていただいております。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後口腔ケアを行っていただいております。磨き残しの多いご利用者様にはご自身で磨いていただいた後、職員が介助をさせていただきますいております。		

自己	三者	項目	自己評価	第三者評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(20)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄のパターンを把握し、声掛け・トイレへのご案内をさせていただくことにより、失敗を減らしパットやリハビリパンツの使用量が減らせるように努めています。	トイレのドアには、分かりやすい表示がされており、さりげない支援ができています。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	薬だけに頼らず、ヨーグルトやバナナを召し上がっていただくなど、医師や看護師と連携をとらせていただいております。		
45	(21)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	曜日や時間を固定せずお声かけをさせていただき、ご希望に添えるよう対応させていただいております。	年齢が若く、同性介助であっても拒否のある人にも無理強いすることなく、週1回程度の入浴が可能になる取り組みがなされている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	その方の生活習慣に合わせた睡眠をとっていただけるよう、朝食時間をずらしたり、体調に合わせて日中でもお部屋で休んでいただく時間をとっていただいております。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬が変更になった時は医師や看護師、調剤薬局とも連携をとりながら服薬の支援と症状の変化の確認をさせていただいております。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	ご家族様にも相談させていただきながら、今までされていた手芸や工作、茶道、書道などを継続して行っていただけるよう支援させていただいております。		
49	(22)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	散歩に出たいというご利用者様には職員が同行させていただいております。遠方へはご家族様にもご協力いただき外出・外泊していただいております。	施設の立地条件として比較的急坂な地域であり、気軽は外出が困難なところでもあるが、家族の協力もあり、旅行も楽しまれているかたもある。	

自己	三者	項目	自己評価	第三者評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	買い物に行きたいというご利用者様には職員が同行し、お預かりしているお金でお支払いをしていただいております。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話をされたいご利用者様には、ホームの電話をいつでも使用していただいています。年賀状を出したいというご利用者様には書いていただきました。		
52	(23)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節にあった飾りをレクリエーションで作成していただいております。	アクティビティーをかねて季節の行事を楽しまれ、その時の様子を写真にとって飾られている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共有のスペースが狭いため、独りで過ごされる居場所づくりは対応できておりませんが、気の合うご利用者様同士で過ごしていただけるよう対応させていただいております。		
54	(24)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	できる限りご自宅で使用されていたベッドや家具をお持ちいただき、使い慣れたものを使用していただいております。	元居られたご自宅の雰囲気再現できるように、ご家族の協力のもとに壁飾りや調度品を整えられ、帰宅願望が落ち着いた方も居られる。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	トイレに張り紙をしたり、居室に目印をつけたりすることによってわかりやすくなるように対応させております。		

## 基本情報

事業所番号	2890800358
法人名	株式会社ニチイ学館
事業所名	ニチイケアセンター神戸霞ヶ丘
所在地	神戸市垂水区歌敷山1-1-46 電話 078-704-5271


【情報提供票より】平成 30 年 2 月 7 日事業所記入

### (1)組織概要

開設年月日							
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人				
職員数	19 人	常勤	10人	非常勤	9人	常勤換算	14,55人

### (2)建物概要

建物構造	単独型 鉄骨造り 2階建ての1~2階部分
------	-------------------------

### (3)利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	88,000 円	その他の経費(日額)		円
敷金	176000円			
保証金の有無 (入居一時金含む)		有りの場合 償却の有無		
食材料費	朝食	235 円	昼食	329 円
	夕食	376 円	おやつ	0 円
	または1日当たり円			

### (4)利用者の概要( 2月 20日現在)

利用者人数	17 名	男性	4 名	女性	13 名
20	6 名	要介護2		8 名	
要介護3	3 名	要介護4		0 名	
要介護5	0 名	要支援2		0 名	
年齢	平均 86.9 歳	最低	77 歳	最高	95 歳

### (5)協力医療機関

協力医療機関名	おひさまネットワーク(北瀬循環器内科)・宇都宮歯科
---------	---------------------------

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	近隣の中学校のトライやるウィークの受け入れ、地域交流センターの餅つきへの参加は出来ましたが、それ以外の地域との交流があまり進んでいない。	近隣の小中学校やふれあい町づくり協議会等との交流を深め地域に根ざした運営を行う。	小中学生を招いてのレクリエーションや小中学校の運動会などの行事の観覧を通じて交流を深めます。また、ふれあい町づくり協議会の行事への参加を通じて地域の活動への参加を行います。	12ヶ月
2	35	開設して1年3ヶ月ということもあり、まだまだ地域との交流を持っておらず、災害時の協力体制を築けていない。	災害時に近隣住民の方に協力していただける体制を築く。	年に二回の消防・避難訓練に近隣住民や地域の方々に参加していただき、災害時に協力していただける体制を築きます。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。

(様式2(2))

## サービス評価の実施と活用状況(振り返り)

サービス評価の振り返りでは、今回の事業所の取り組み状況について振り返ります。「目標達成計画」を作成した時点で記入します。

【サービス評価の実施と活かし方についての振り返り】	
実施段階	取 り 組 ん だ 内 容 ( ↓ 該当するものすべてに○印 )
1 サービス評価の事前準備	<input type="radio"/> ①運営者、管理者、職員でサービス評価の意義について話し合った
	<input type="radio"/> ②利用者へサービス評価について説明した
	<input type="radio"/> ③利用者家族へサービス評価や家族アンケートのねらいを説明し、協力をお願いした
	<input type="radio"/> ④運営推進会議でサービス評価の説明とともに、どのように評価機関を選択したか、について報告した
	<input type="radio"/> ⑤その他( )
2 自己評価の実施	<input type="radio"/> ①自己評価を職員全員が実施した
	初回 <input type="radio"/> ②前回のサービス評価で掲げた目標の達成状況について、職員全員で話し合った
	<input type="radio"/> ③自己評価結果をもとに職員全員で事業所の現状と次のステップに向けた具体的な目標について話し合った
	<input type="radio"/> ④評価項目を通じて自分たちのめざす良質なケアサービスについて話し合い、意識統一を図った
	<input type="radio"/> ⑤その他( )
3 外部評価(訪問調査当日)	<input type="radio"/> ①普段の現場の具体を見てもらったり、ヒアリングで日頃の実践内容を聞いてもらった
	<input type="radio"/> ②評価項目のねらいをふまえて、評価調査員と率直に意見交換ができた
	<input type="radio"/> ③対話から、事業所の努力・工夫しているところを確認したり、次のステップに向けた努力目標等の気づきを得た
	<input type="radio"/> ④その他( )
4 評価結果(自己評価、外部評価)の公開	<input type="radio"/> ①運営者、職員全員で外部評価の結果について話し合った
	<input type="radio"/> ②利用者家族に評価結果を報告し、その内容について話し合った
	<input type="radio"/> ③市区町村へ評価結果を提出し、現場の状況を話し合った
	<input type="radio"/> ④運営推進会議で評価結果を報告し、その内容について話し合った
	<input type="radio"/> ⑤その他( )
5 サービス評価の活用	<input type="radio"/> ①職員全員で次のステップに向けた目標を話し合い、「目標達成計画」を作成した
	<input type="radio"/> ②「目標達成計画」を利用者、利用者家族や運営推進会議で説明し、協力やモニター依頼した(する)
	<input type="radio"/> ③「目標達成計画」を市町村へ説明、提出した(する)
	<input type="radio"/> ④「目標達成計画」に則り、目標をめざして取り組んだ(取り組む)
	<input type="radio"/> ⑤その他( )